

しろいし English

白石市小・中英語教育推進委員会

令和6年10月17日発行

第1号

◆市内小中学校の英語活動の取組を紹介していきます◆

本市は、令和3年度より、文部科学省から英語教育に関する「教育課程特例校」（通称：英語特区）の指定を受けました。

全ての児童生徒が、世界の国々の文化を学ぶとともに、自分たちの生まれ育ったふるさと白石について英語で紹介したり、白石のまちを案内したりすることができる力を育成し、「シビックプライド～まちへの誇りと愛着～」を育むことを目標の一つとしています。本推進委員会では、その趣旨を踏まえ、目標を具現化していくための様々な英語活動の取組を企画・運営したり紹介したりしていきます。

今後、市内の小中学校の英語活動の取組についてご紹介していきますのでご期待ください。

令和6年度の主な取組について

1 小中の交流授業

令和3年度から続けてきています。小学校から中学校への英語学習のスムーズな接続・小中連携を目的に、各中学校区（白石中学校区・福岡中学校区・東中学校区）毎に授業交流を行っています！

2 小中英語ボランティアガイド

昨年度から始めました。10月の鬼小十郎まつりで来白した外国の方々に、英語で白石市の観光や歴史、食べ物等について説明したり、インタビューしたりするボランティアガイドです。市内の小学5年生から中学3年生で構成されています。コミュニケーション力の向上も目指します！

3 広報「しろいし English」

各小中学校の英語の授業の様子を紹介します。時々、保育園や幼稚園も紹介します。今月号からスタートし、今後、2か月に1回の割合で発行する予定です！



鬼小十郎まつりで小中学生英語ボランティアガイドが大活躍！

10月5日（土）に白石城で盛大に「第17回鬼小十郎まつり」が開催されました。8千名を超える来場者で大盛況に終わった鬼小十郎まつりでしたが、その中で、小中英語ボランティアガイドも大活躍をしました。小中英語ボランティアガイドは応募制で、今年度は市内の小学5年生から中学3年生の計22名での実施となりました。鬼小十郎まつり本番に向けて研会を積み、当日は、白石市のお土産や温麺、温泉、白石城や鬼小十郎まつり、材木岩について、外国の方々に説明したり、インタビューをしたりしました。積極的にコミュニケーションを図る姿に大きな成長が感じられました。



↑ 研修会の様子です。市内の小中の先生方と国際交流協会の方々のご協力で研修を積みました！ ↑



↑ 当日は、大勢の外国の方に白石市について説明したいインタビューしたいことができました！ ↑



各学校の 英語活動紹介

各学校の英語活動を紹介するコーナーです。
第1回は、白一小、大平小、福岡小、白石中の4校です。

白石第一小学校



1年生は、英語特区の授業として、ALTや専科教員に自己紹介をしたり、ゲームをしたりしながら、楽しく英語に触れています。最初は緊張していた児童も、活動を通して生き生きと取り組んでいます。笑顔も増えました。

大平小学校

6年生が修学旅行の思い出について5年生に英語で伝える学習を行いました。相手に伝わるようにジェスチャーを取り入れたり、発表について英語で感想を伝えたりと、それぞれが外国語の学習で学んだことを生かして取り組んでいます。5年生からは憧れの眼差しも！ 充実した取組となりました。



福岡小学校



6年生の外国語の授業では、英語でのスピーチを撮影し、教育ICTツールを活用してそれぞれの動画を共有しています。友達のスピーチを参考にしたり、以前の動画と比べたりしながら工夫や改善すべき点を評価し、より良いスピーチを目指しています。

白石中学校

今年3月、しろいしイングリッシュの成果を試すために2学年全クラスで「イングリッシュ・キャンプ」を行いました。生徒たちは今までに学んだことを駆使し、学校生活やわがふるさと白石について、友達と協力しながら英語で話すことに挑戦する中で、楽しみながら表現力も高めました。



小中英語ボランティアガイドでハイポーズ！

第2号は、12月に発行予定です。白石第二小、大鷹沢小、深谷小、福岡中の英語活動をご紹介します。楽しみにしてください。